



令和3年12月1日

みなみひの保育園

クリスマスにお正月休みと、楽しみがいっぱいの12月。

子どもたちは待ちきれない！といった様子で、毎日ワクワクしながら過ごしています。新型コロナウイルスの患者も減少して、行動範囲が広がる時期ですがインフルエンザの流行も考えながら慎重に行動したいものです。

### 油断できないかぜ

かぜは年齢が低いほど、中耳炎や気管支炎、肺炎などを起こしやすくなります。気管の弱いお子さんの場合は、のどがゼーゼーしたり、長引いたりする傾向があります。早めに診察を受けましょう。

**冬のかぜによくある特徴**

- せき・鼻水・のどの炎症・発熱 → 呼吸器系にくるかぜ
- 下痢・おう吐 → 消化器系にくるかぜ
- 両方の症状 → インフルエンザの疑い

### かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

**症状**

- 高熱
- 激しい耳の痛み
- 一時的な難聴、閉塞感

**予防**

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすく、しんじつせい滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

## サンタクロースは大丈夫?!

昨年のクリスマス前「コロナのせいでサンタさんが来られないかも…」と心配している子どもたちのため、WHO（世界保健機関）がこんなメッセージを出しました。

サンタクロースは  
コロナの免疫を持っていて  
世界中を移動できます。  
感染対策をとりながら、クリスマス  
イブには、おうちの人のいう事をよく  
聞いて、早く寝ましょう

時代に合わせたセンスのある言葉ですよ。もちろん、これは今年も有効です。

子どもたちにも窮屈な日々が続きますが、楽しい行事をあきらめずに過ごせるように。そして、早寝のための“切り札”として使えるかもしれませんね。



☆11/15(日)に「プライベートゾーン」というテーマをもとに保健指導を行いました。

自分はこの世でかけがえのないものだということを知り、プライベートゾーンを守るために実際に声に出す事をしました。おうちで尋ねて見てください。

☆三歳児の視聴覚検査の用紙をレターケースにお入れしました。12/3(金)までの提出をお願いします。